

No.	38
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和3年6月

水田農業高収益化推進計画

愛媛県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県の水田農業は、県農業産出額の14%(H30年度)を占める水稻を主体に、はだか麦、大豆、野菜等を組み合わせた生産を行っており、特に、はだか麦については、瀬戸内の乾燥した気象条件を背景に、東・中予地域の排水良好な扇状地等を中心に作付けされ、収穫量は33年連続全国一となっている。

一方で、本県は中山間地域が多くを占めていることなどから果樹の生産が盛んで、県農業産出額の43%(H30年度)を果樹が占めており、特に全国第2位の生産量を誇る温州みかん(125,400t)や中晩柑類の多様な品種構成によって周年供給体制を確立しており、29年産かんきつ収穫量(温州みかん＋中晩柑類)は206,788トンで、昭和49年以降、44年連続で日本一である。また、33年連続日本一のキウイフルーツ(5,210t)をはじめ、かき(8,300t全国9位)、ぶどう(1,040t全国24位)、くり(869t全国3位)など落葉果樹を含めて特徴的な産地が形成され、そうしたものと組み合わせながら中山間地域の水田農業が維持されてきた。

そうした中、中山間地域の条件が悪い農地については、野菜や果樹と比べて収益性がそれほど高くない水稻を中心とした経営では水田の維持が難しくなっていることから、果樹を中心として、省力的な管理が可能で今後も安定した収益が望める品目や、山間地でも特に高収益が見込まれる品目への転換を進め、農地を有効活用し、産地の維持・拡大を図る必要がある。

2. 目標

(1)推進方針

水田農業の担い手確保や規模拡大が難しい中山間地域において、水田からの転換が一部で進みつつある「ゆず」、「くり」や特に高収益が期待される「キウイフルーツ」、「ぶどう」を当面の推進品目として位置づけ、補助事業の活用等による新植を推進し、産地の維持・拡大と農地の有効活用を図り4産地を創出することとする。また、今後は市町段階においても、再生協議会を中心とした水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置等を推進し、関係機関が一体となった取組を進めることで、更なる産地の創出を図る。

(2)推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ゆず	生食用 加工・業務用	露地	本県では生産量全国第3位の主要な品目で、加工業者や和菓子メーカーへの加工用を中心に出荷しており、海外への輸出にも取組み始めるなど、安全安心で高品質な愛媛県産に対するニーズの拡大で他産地と競合がなく安定した需要が見込まれる。資本設備率も低く省力的な栽培が可能で中山間地域の立地条件にも適しており、農地の有効活用にもつながる。また、早期出荷ができるよう青ユズによる出荷にも取組んでいる。	35.7 ha (令和元年)	41.0 ha (令和7年)	1,600 kg/ha (令和元年)	1,650 kg/ha (令和7年)	88,536,000 円 (令和元年)	104,858,000 円 (令和7年)		
くり	生食用 加工・業務用	露地	本県では生産量全国第3位の主要な品目で、和菓子メーカーや加工業者向けに市場出荷されており、最も競合する輸入品に対して、安全安心で高品質な愛媛県産に対するニーズが高まっており、安定した需要が見込まれる。資本設備率も低く省力的な栽培が可能で中山間地域の立地条件にも適しており、農地の有効活用にもつながる。	131.7 ha (令和元年)	132.4 ha (令和7年)	115 kg/ha (令和元年)	118 kg/ha (令和7年)	95,114,000 円 (令和元年)	98,114,000 円 (令和7年)		
キウイ フルーツ	生食用	露地	本県では生産量全国第1位の重要な品目で、愛媛県産への市場ニーズも拡大傾向で最も競合する輸入品とは出回る時期が違い競合がなく、安定した高値販売が続いている。近年、かいよう病の発生や老木園の増加等により生産基盤の弱体化が進んでいるため、新植を含めて栽培面積の確保による生産量の拡大が必要となっている。	3.8 ha (令和元年)	3.9 ha (令和7年)	2,800 kg/ha (令和元年)	2,880 kg/ha (令和7年)	47,880,000 円 (令和元年)	50,544,000 円 (令和7年)		
ぶどう	生食用	露地	シャインマスカットやピオーネを中心に高収益が見込める品目で、中山間地域の農業振興を図る上では他の落葉果樹を含めて重要な品目に位置付けられる。近年、需要は拡大傾向で、鮮度保持技術による出荷期間の延長や系統出荷を始め、観光農園など多様な出荷形態にも適合しやすいことから、他との競合がない。	9.2 ha (令和元年)	9.4 ha (令和7年)	1,400 kg/ha (令和元年)	1,440 kg/ha (令和7年)	115,018,000 円 (令和元年)	120,876,000 円 (令和7年)		

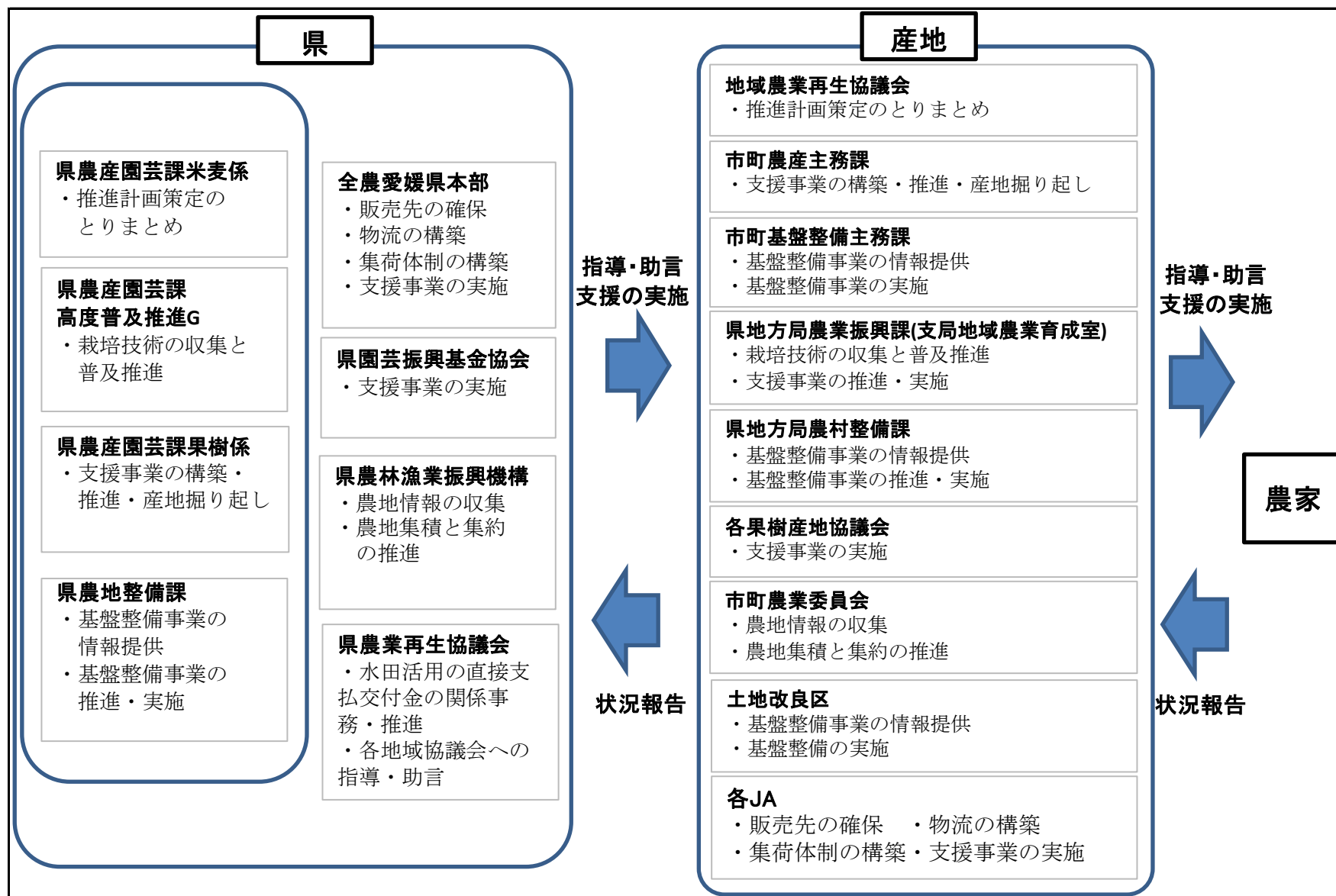
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

農業情報等の収集・周知に努めるとともに、関係機関が連携して産地の掘り起こしや農地の集積、集約化に取組む。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
ゆず	補助事業の活用による新植の推進	生育途中の果実の一部を青ゆずとして早期に収穫し、着果負担や樹勢低下を軽減することで隔年結果を防止するなど連年安定生産技術を推進	青ゆずの出荷による出荷期間の拡大の推進 地元業者と連携した加工品の開発と販路拡大の推進	
くり	補助事業の活用による新植の推進 省力化・早期成園化等による規模拡大支援	名木の優良品種（長良味品種：利平、銀寄、石鎚等、病害虫抵抗性品種：紫峰等）への改植の推進 受光環境の改善のために間伐や低樹化を図る。また適正な病害虫防除・肥培管理（堆肥や液肥の施用）の推進	愛媛ブランドを活かした市場での有利販売 地元加工業者等と連携した加工品の開発、販路拡大	
キウイフルーツ	補助事業の活用による新植の推進 大規模法人の取組支援	キウイフルーツかいよう病Psa3に強い品種（ヘイワード等）の導入 かいよう病発病樹の早期発見、伐採・防除や枝幹害虫の適期防除等適正な病害虫防除肥培管理の推進	環状剥皮等高品質生産技術の指導による単価の上昇 冷蔵貯蔵での長期出荷による単価の向上	
ぶどう	補助事業の活用による新植の推進	適正な病害虫防除（黒とう病、べと病、コナカイガラムシ類等）に対する薬剤散布・肥培管理（堆肥施用）、施設化等による高品質生産の推進	フレッシュホルダー等活用した長期冷蔵保存による冬季出荷の拡大 単価の高い大粒系品種の生産拡大（新植・改植）、無核化（GA等処理） 着色促進・高糖度生産技術（マルチ被覆、環状剥離等）の推進	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	西予市農業再生協議会	西予市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

No.	38-001
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和3年6月

水田農業高収益化推進計画
西予市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	西予市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	<div><div>西予市農業再生協議会</div><div>西予市</div><div>東宇和農業協同組合</div><div>西予市農業委員会</div><div>県八幡浜支局地域農業育成室</div><div>県八幡浜支局農村整備第一課</div><div>県八幡浜支局農村整備第二課</div><div>県南予地方局産業振興課</div><div>東宇和地域果樹産地協議会</div><div>宇和町土地改良区</div><div>三瓶町土地改良区</div><div>明浜町土地改良区</div><div>魚成土地改良区</div></div> <div><div>西予市農業再生協議会</div><div>西予市</div><div>東宇和農業協同組合</div><div>西予市農業委員会</div><div>県八幡浜支局地域農業育成室</div><div>県八幡浜支局農村整備第一課</div><div>県八幡浜支局農村整備第二課</div><div>県南予地方局農業振興課</div><div>東宇和地域果樹産地協議会</div><div>各土地改良区</div><div>農地情報とりまとめ</div><div>地域情報とりまとめ</div><div>計画策定</div><div>水田活用の直接支払交付金の関係事務・推進</div><div>地域の合意形成の推進</div><div>支援事業の情報提供</div><div>基盤整備事業の実施</div><div>支援事業の実施</div><div>営農指導の実施</div><div>販売先の確保</div><div>集荷体制の構築</div><div>農地情報の収集</div><div>農地集積・集約の推進</div><div>栽培技術の収集と普及推進</div><div>基盤整備事業の情報提供</div><div>基盤整備事業の実施</div><div>支援事業の推進</div><div>基盤整備事業の情報提供</div><div>基盤整備の実施</div></div>
	<div>指導・助言 支援の実施</div> <div>状況報告</div> <div>農家</div>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ゆず	生食用加工・業務用	露地	西予市	35.7 ha (令和元年)	41.0 ha (令和7年)	1,600 kg/10a (令和元年)	1,650 kg/10a (令和7年)	88,536,000 円 (令和元年)	104,858,000 円 (令和7年)		
くり	生食用加用・業務用	露地	西予市	131.7 ha (令和元年)	132.4 ha (令和7年)	115 kg/10a (令和元年)	118 kg/10a (令和7年)	95,114,000 円 (令和元年)	98,114,000 円 (令和7年)		
キウイフルーツ	生食用	露地	西予市	3.8 ha (令和元年)	3.9 ha (令和7年)	2,800 kg/10a (令和元年)	2,880 kg/10a (令和7年)	47,880,000 円 (令和元年)	50,544,000 円 (令和7年)		
ぶどう	生食用	露地	西予市	9.2 ha (令和元年)	9.4 ha (令和7年)	1,400 kg/10a (令和元年)	1,440 kg/10a (令和7年)	115,018,000 円 (令和元年)	120,876,000 円 (令和7年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。